

自律学修



S I L C
宝来 華代子

学問は時に抽象的で学んだことを即、実生活に活かせず、学ぶ意義を実感しにくいかもしれません。英語の国際語としての重要性は高まっていますが、習得には長期的な取り組みが必要です。学習を継続させ、よりよく学ぶためには、なぜ学ぶのか、何を学び、目指すものは何かと目標設定し、目標達成のための計画を立て、実行した内容を振り返り、自分にあった学習方法を分析することが重要です。自分の学習に対する責任を持つこと、つまり自律した学習者となることは様々な場面で応用できる力となります。自律した学習者へと成長するため、どのように教育現場ではサポートできるかを研究しています。

この研究は将来どんなことに役立ちますか？

自律した学習者となることは、生涯を通してポジティブに学び続ける力となるでしょう。